



何事にも一生懸命

あぶらの わいちろう
かほく市長(石川県) **油野和一郎**
Waichiro Aburano

罪滅ぼし

余暇は何をしていますかと聞かれたら、最近では妻と2人で映画を観に行くこと答えています。以前は、時間があればゴルフばかりでした。趣味はゴルフと豪語していたことを思えば大きな変化です。

若いころから体は小さいが運動は得意で、社会人になってから友人と3人でクラブを買いに行き、買ってすぐにゴルフを始めました。負けず嫌いで一緒に始めた仲間よりも早く上達したいと打ち込んだものです。初めてもらったハンディキャップが14、後には4にまでなり、所属クラブのクラブチャンピオンにもなりました。しかしそれ以上は仕事を犠牲にすると思いい、競技大会への出場はやめて、クラブの競技委員や地元ゴルフ協会のお世話に専念しました。そして、与えられた役割に熱心に取り組み、そのことによって信頼が生まれ、現在の私へつながっていると感じています。

以前はゴルフの腕前にはかなり自信を持っていましたが、忙しさをラウンド数も減り、最近ではあまりの下手さ加減に意欲が減退するほどで、ストレス解消のつもりが逆で、逆にストレスが溜まるスコアとなっています。それでも年に2、3回はラウンドします。やはりゴルフは楽しく今でも大好きです。

最近の妻との映画鑑賞は、企業誘致で開業した大型商業施設内にある映画館を利用していますが、自宅に近く便利なこともあり、若いころに妻をゴルフウイドウにしていた罪滅ぼしを兼ねて、彼女の好きなものに付き合うようにしています。

ジョギング

市長に就任して1年目の平成16年、市の陸上競技協会が毎年12月に実施する「かほく〜珠洲間120キロメートル交通安全リレーマラソン」のスタート区間1.5kmを私に走って欲しいという要請があり、引き受けることにしました。中学、高校と陸上競技部に所属し長距離を走り、高校の時にはキャプテンとして臨んだ県の駅伝大会で優勝し、年末の京都で開催される全国高校駅伝に石川県代表として走った経験もあり、脚には結構自信もありました。走ることから遠ざかっていましたが、1.5kmぐらいならと練習もせずに走り始めました。しかし、緩やかな坂が思った以上にきつくと、最後はフラフラになり、やっとの思いでタスキをつなぐ体たらくでした。

それ以来、毎年のリレーマラソンには



「市民ゴルフ大会」1番ホールでのティーショット

1カ月ぐらいの練習を積んで臨み、最近では時間が取れば、1日30分から40分のジョギングをこなすようにしています。日本海に沈む夕日を見ながらのジョギングでは心も癒やされますし、毎年の健康診断では運動不足を指摘されていました。が、今はいろんな数字も改善され体力もついて喜んでいきます。われわれの仕事は第一に体力です。これからも無理をしないで走り続けたいと思っています。

生い立ち

生まれつき、何をやっても負けん気だけは人一倍強く、何事にも一生懸命取り組む性格でした。そのため、保育園に通う小さい時から、年上の子を平気で泣かす、手に負えない子どもでした。小学校時代、母親が通知票をもらいに

行きたがらなかったのは、私のことでもいつも先生に叱られるからという理由でしたが、母親はやさしい人で、母からは叱られた記憶がありません。また、大人しい性格で、日ごろから人前に出るのを嫌がりましたが、皮肉なことに自分の父、夫、長男が町長になったことによって、つらい思いをした人でもありません。

父が亡くなった後、一期だけでもやってみると言われた町議に立候補し初当選しました。しかし一期目に当時の町政の問題に直面し、任期途中で町長選に立候補し、現職との一騎打ちの末、当選を果たすことができました。祖父、父、私と三代にわたって町政を預かることになりましたが、奇しくも私の任期中に、長い町の歴史を閉じることにもなりました。



「交通安全リレーマラソン」の第1走者で健闘する筆者(右)

町長一期目の最大の仕事が近隣3町の対等合併で、苦難を乗り越え平成の大合併石川県内第1号として、平成16年3月にかほく市が誕生しました。そして現職町長同士の一騎打ちを制し、初代市長の重責を担うことになったのです。

信無くば立たず

これらの選挙で私を支えてくれたのが、小さい時からの多くの同級生であり、ゴルフ仲間でありました。私自身、これまで人とのつながりを大切に生きてきました。人との約束を大切に生きてきました。そして多くの友人がで、仲間の輪が大きく広がりました。やがて仲間たちとの間には強い信頼が生まれ、その信頼を大切に生きてきました。信頼は一朝一夕に築くことはできません。長い年月を必要とします。しかし信頼はたやすく失われてしまうこともあります。だからこそ信頼され続けることが大切なのです。

私が他人よりも優れていることがあるとすれば、私を信頼してくれている多くの友人がいることです。私が人よりも恵まれているとしたら、厳しい目で市政をみながら、時には叱咤激励してくれる先輩が何人もいることです。「信無くば立たず」この言葉を大切に、これからできることから一歩ずつ何事にも誠心誠意取り

組んでいきたいと思っています。

かほく市が誕生して、今年で10年目の節目の年となりました。合併後これまで、定住促進、子育て支援、安全安心、生活環境向上、インフラ整備など住みよいまちづくりを重点的に推進してきました。その結果、今年の大手経済誌の「住みよきランキング」では、総合13位と年々ランクアップできています。たかが数字ですが、さほど数字です。市民の皆さまに、住んで良かったと心から実感してもらえよう、さらなる住みよいまちづくりに向け走り続けたいと思っています。



仲間との「餅つき大会」